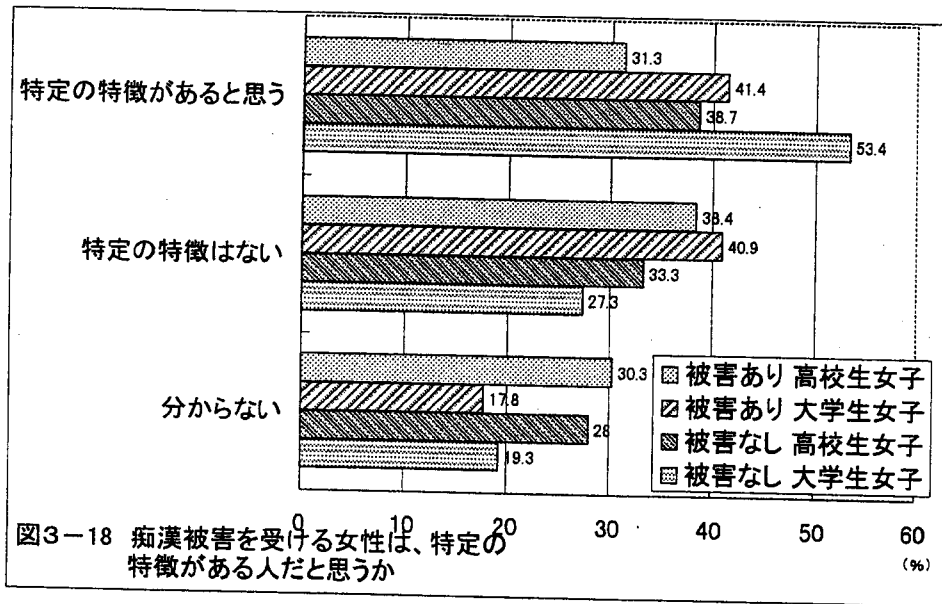


4. 体に触られる痴漢被害経験の有無別にみた痴漢被害者の人物像

① 痴漢の被害にあいやすい人物には、なにか特徴があるか

痴漢の被害にあいやすい人物には、なにか特徴があると思うかと思うか、という設問に対する回答結果を痴漢の被害経験の有無別に図3-18に示す。



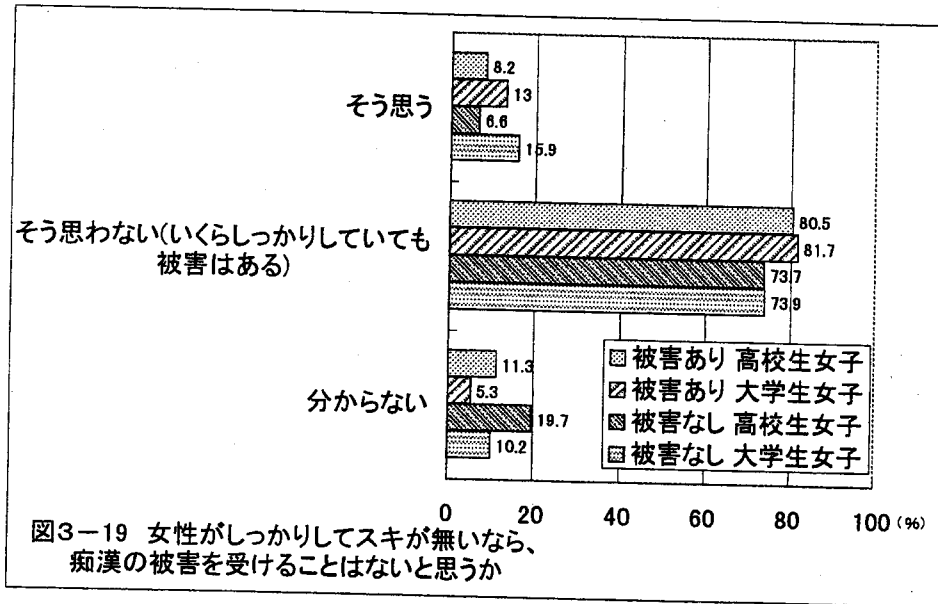
大学生女子についてみると、被害経験のある者では、被害者に特徴があるとするもの41%に対し、被害経験のない者では、53%であり、被害経験の無い場合の方が、特徴があるとするものの割合が高くなっている。逆に、特徴がないとする者は、被害経験があるもので41%、無いもので27%と、被害経験のある場合に高くなっている。高校生女子においては、大学生ほどはっきりしていないが、同様の傾向が若干みられる。

こうした傾向は、やはり先に見た男女差と対応しており、被害経験の無い者では、より男子に近い傾向を示している。従ってこうした男女差、すなわち男子において特徴があるとする者の割合が高いことについても、被害の経験を受けた当人は、自分自身にその原因を帰属しにくく、第三者は被害者そのものに原因を帰属しやすい、という一般的な傾向から解釈することが可能であろう。

② 女性がしっかりしてスキが無いなら、痴漢の被害を受けることは無いか

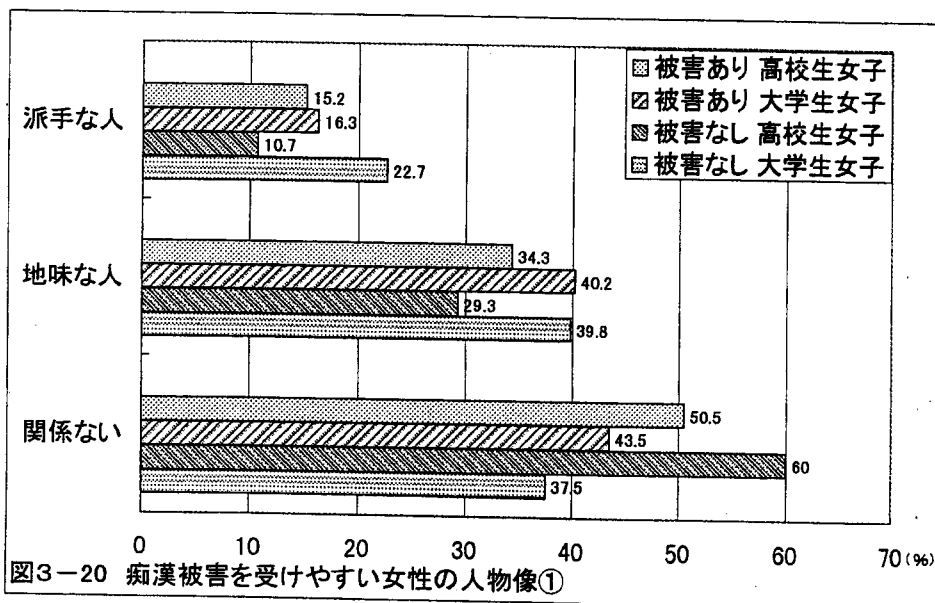
痴漢被害経験の有無別による結果を図3-19に示す。

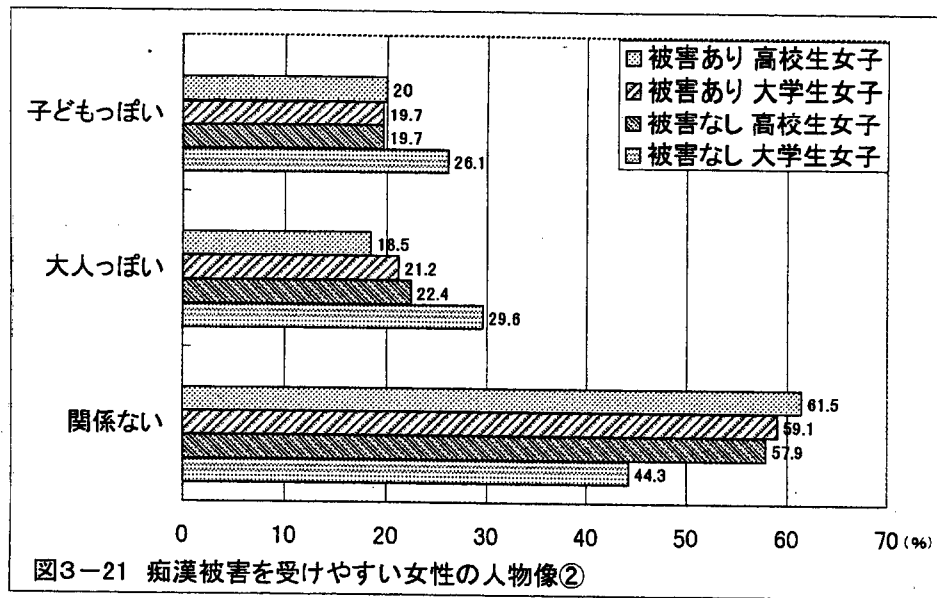
そう思わない、すなわち被害者にはなんら責任は無い、とする回答が圧倒的であるが、やはり被害経験の有無別に見ると若干の相違が見られ、被害経験のある人で、そう思わないという回答の割合がより高くなっている。これも前項の結果と軌を一にするものである。



### ③ 被害者の特性

前節では、7つの特性をその回答結果から3群に分けたが、ここでもその分類に従って結果を見ていくことにする。





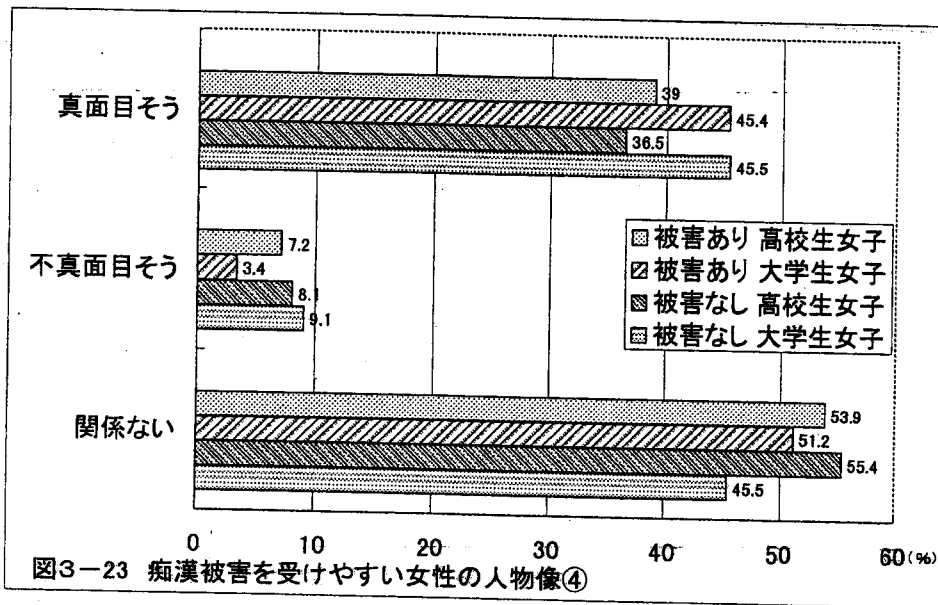
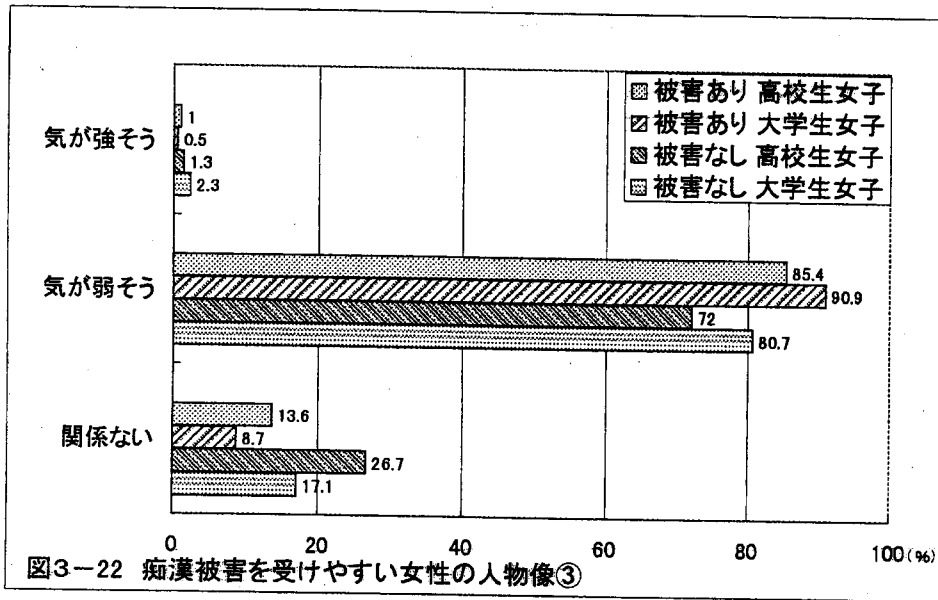
一方の特性がはっきり関連しているとされたのは「気が弱い」と「清潔」であった。それらの項目についての被害経験の有無別にみた結果を図3-20と図3-21に示す。

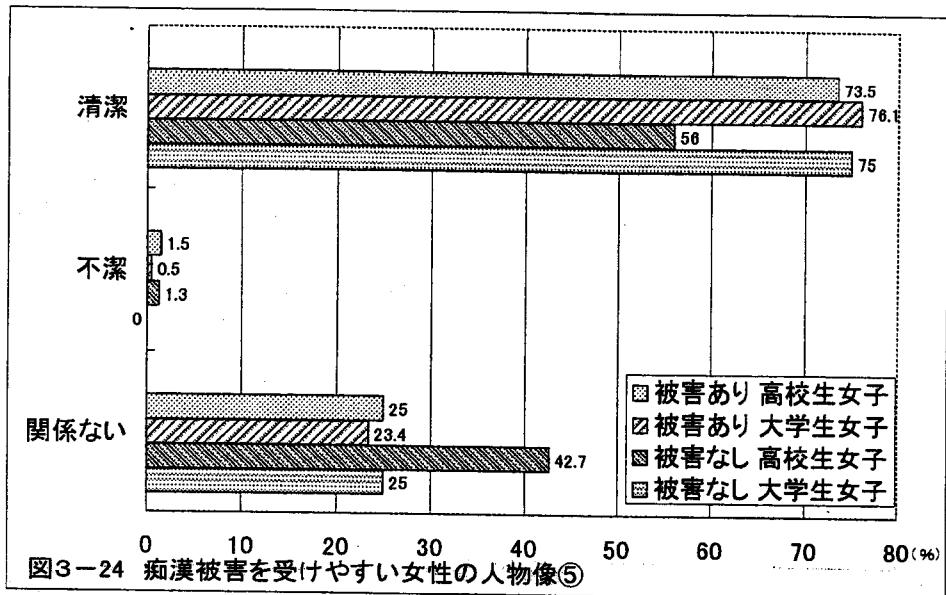
性格特性である「気が強い」－「気が弱い」に関しては、一般的に被害者に特徴があるか、という設問に対してみられたものと逆の傾向が若干認められる。たとえば高校生では、気が弱そうとした者が、被害経験のある場合85%、無い場合72%、大学生でもそれぞれ91%、81%と、被害にあったことのあるもので「気が弱そう」とする者の割合がむしろ高い。被害を受けたときにどう対応したかに対する設問の結果では、にらみつける、その場を離れるなどの消極的行動や、なにもしないという回答が多くなっており、いざその場になると、なかなか積極的な行動をとれない、という経験が、「気が弱い」により肯定的に反応することと関係しているのかもしれない。

他方「清潔」－「不潔」という特性に関しては、被害経験のない高校生女子のみが、異なった結果を示しており、他の群と比較して「清潔」とする率が低く、相対的に関係ないとするものの率が多くなっている。この特異な結果が何に由来するのか判然としないが、被害経験が自分自身にない場合、痴漢行為そのものに対する「清潔」ではないイメージが、被害者にも波及しているのかもしれない。

次いで、関係ないとする者が、半数程度いるが、対にした特性間では、回答が一方に偏っていたもの、すなわち「真面目」「胸が大きい」「動作がのろい」について、被害経験の

有無別に見た結果を図3-22から図3-24に示す。





性格特性である「真面目」さや、身体的特徴である「胸が大きい」については、被害経験の有る無しによって、はっきりした回答の違いはみられない。身体機能に関連した「動作がのろい」についても大学生においては差が認められないが、高校生女子においては、被害経験の有る無しによって、差が見られる。被害経験の無い者では、「動作がのろい」に肯定した者が39%であるが、被害経験があるものでは58%に達している。大学生では被害経験がある者も無い者も57~58%であるから、被害経験のない高校生女子の回答が異なっていると言えるが、高校生女子で被害経験のあるなしで比較した際、ある者で「動作がのろい」とした者の割合が多くなっていることは、「気が弱い」の回答結果と同様、実際の痴漢被害経験の際、積極的な行動をなかなかとれない、ということと関連しているのかもしれない。

最後に特性との関連がはっきりしなかった「派手」—「地味」および「子どもっぽい」—「大人っぽい」について、被害経験別の結果を図3-25および図3-26に示す。

「派手」—「地味」については、高校生女子において被害経験の無い者で、関係ないとする割合がいくぶん高く、「子どもっぽい」—「大人っぽい」では、大学生女子において、被害経験があるとするもので、関係ないとする者の割合が高くなっている、などの傾向は認められるが、これらの特性においては、そもそも痴漢行為の犯人像との関連がはっきりせず、被害経験の有無と回答の間にも一貫した傾向が認められない。

全体として、被害経験のある者では、被害を受けやすい人にはなにか特徴があるか、という質問に対して、被害経験のない者より、特徴がないとする回答が高くなっているが、具体的な特性に関する質問では、たとえば「気が弱い」などにより肯定的に反応する傾向がみられる。

